

**製品名: BRG1 ウサギモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMRe21379**

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

## 応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:185kD;Observed MW:220kD

## 抗原情報

遺伝子名	SMARCA4
別名	SMARCA4;BAF190A;BRG1;SNF2B;SNF2L4;Transcription activator BRG1;ATP-dependent helicase SMARCA4;BRG1-associated factor 190A;BAF190A;Mitotic growth and transcription activator;Protein BRG-1;Protein brahma homolog 1;SNF2-beta;SWI/S
遺伝子 ID	6597
SwissProt ID	P51532
免疫原	ヒト BRG1 の合成ペプチド

## 背景

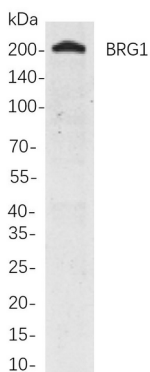
細胞局在: 核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は SWI/SNF ファミリータンパク質の一員であり、ショウジョウバエのブラフマタンパク質に類似しています。このファミリーのメンバーはヘリカーゼ活性と ATPase 活性を有し、遺伝子周囲のクロマチン構造を変化させることで、特定の遺伝子の転写を制御すると考えられています。コードされるタンパク質は、通常はクロマチンによって抑制されている遺伝子の転写活性化に必須の、ATP 依存性クロマチンリモデリング複合体 SNF/SWI の一部です。さらに、このタンパク質は BRCA1 に結合するだけでなく、腫瘍形成性タンパク質 CD44 の発現も制御します。この遺伝子の変異は、ラブドイド腫瘍素因症候群 2 型を引き起こします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。

[RefSeq 提供、2012 年 5 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



C6 細胞ライセートの BRG1 ウサギ mAb を用いたウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。